

## 第3章 変数

Web応用

第2回 JavaScriptの基礎

# 第3章

# 変数

## 第3章 学習目標

変数の基本を理解しましょう。

## 学ぶための準備

演習するためにhtmlファイルを用意しましょう。

### 1. 次のソースコードのhtmlファイルを制作する

#### ■ ソースコード

```
1 <!DOCTYPE html>
2 <html>
3   <head>
4     <meta charset="utf-8">
5     <title>サンプル2-3</title>
6     <style>
7       /*CSSのエリア*/
8     </style>
9   </head>
10  <body>
11    <!-- コンテンツのエリア -->
12    <script>
13      //JavaScriptのエリア
14
15    </script>
16  </body>
17 </html>
```

## 2. ファイルを保存する

保存する際は、ファイル名と文字コードを次のように設定しましょう。

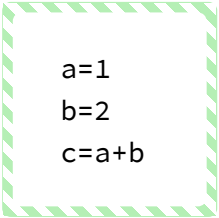
- ファイル名は「sample2-3.html」
- 文字コードは「UTF-8」

# 変数の宣言

「変数」について解説します。

## 1. 変数とは

例えば、数学にも変数というのがありますね。



```
a=1
b=2
c=a+b
```

変数は「値を入れる箱」と学んだかもしれません。

JavaScriptでも、「変数」は、まずは「値を入れる箱」と理解しましょう。

数学と違うのは、

- 「a,b,c」という箱は最初から確保されていないということです。
- 最初から確保されているとメモリを確保しておかなければならないので効率がよくありません。そのため、変数が必要なときに「変数の宣言」を行って、変数という箱を新規に作成します。

## 2. 変数の宣言

それでは、「変数の宣言」の演習を行いましょう。次のコードを入力してください。

### ■ ソースコード

```
13 //JavaScriptのエリア
14 var a;
15 var b;
```

これで、a、bという箱（変数）ができました。

解説：

- ・「var」は「variable(変数)」の略です。a、bが変数であることを宣言します。
- ・「var a;」や「var b;」を式（または文）といいます。
- ・行の最後の「;（セミコロン）」は、「ひとつの式（または文）の終わり」であることを示します。

## 変数の代入

「変数」という箱はできましたが中に値が入っていないので、「値を代入」してみましょう。  
代入には「=」という記号を使います。

### 1. 次のコードを追加する

### ■ ソースコード

```
13 //JavaScriptのエリア
14 var a=1;
15 var b=2;
16 document.write(a);
```

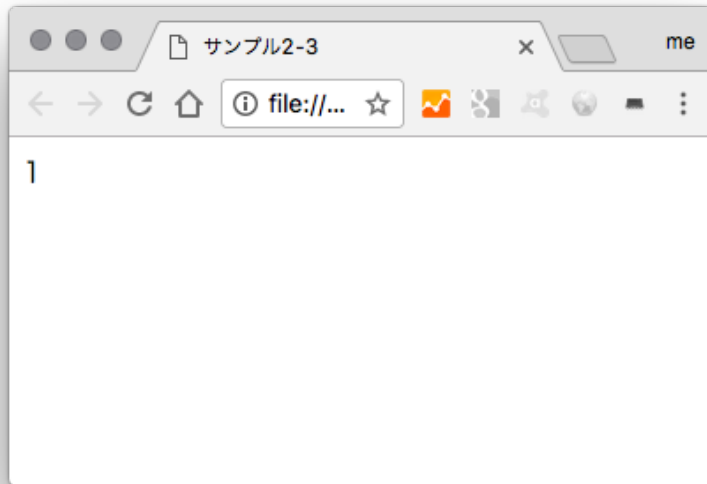
解説：

- ・変数として宣言された「a」「b」の箱にそれぞれ値「1」「2」を代入しています。
- ・「document.write()」は、()内の変数の値をページ上に表示するプログラムです。

### 2. ページに表示する

変数「a」の値をページ上に表示してみましょう。

- ・ファイルを保存して、ブラウザで閲覧して、変数「a」に入っている値「1」が表示されていることを確かめてください。これで、変数に値が代入されたことを示しています。



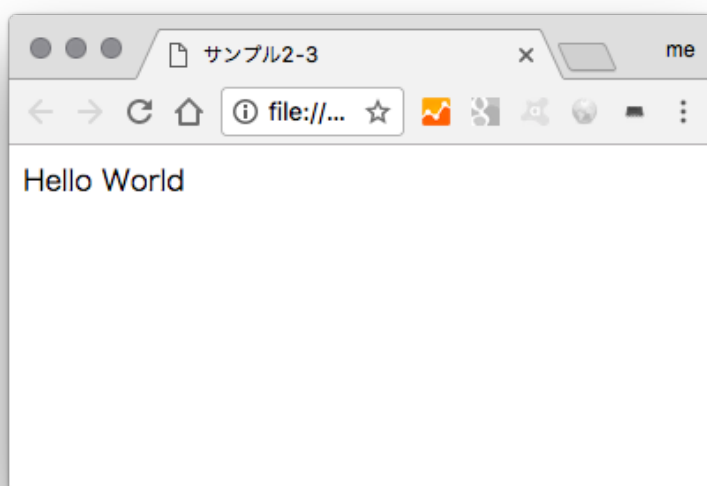
- また変数「b」の値も表示させてみてください。

### 3. 代入できるもの

変数には、「数字」だけではなく、「文字列」を代入することができます。一緒に演習してみましょう。次のソースコードを書いてください。文字列は「"（ダブルクォーテーション）」で囲みます。

#### ■ ソースコード

```
13 //JavaScriptのエリア
14 var c="Hello World";
15 document.write(c);
```



#### 解説：

- 変数には、数字、文字を代入できることを覚えておいてください。

- 文字列をダブルクォーテーションで囲まないと、変数の扱いになるので、付け忘れないよう十分注意してください。
- なお、数字、文字の他にも、真偽値、オブジェクトというものも代入できます。おって出てきますのでその際に説明を行います。

## 練習問題1

### 問題

#### 変数の宣言

変数の宣言に使う記号はどれですか。

- ☐ \$
- ☐ var
- ☐ ver

## 練習問題1の解説

正解は、**var** です。

- 変数は英語でvariableです。前の3文字を使います。
- verではありません。
- \$は、PHPという別のプログラムで変数であることを示します。

綴りが違うと正常に動作しません。プログラムが異なると変数の宣言も異なります。注意しましょう。

## 第3章 まとめ

変数の宣言、代入などの変数の基本を学びました。

## 第3章 終わり

Web応用

第2回 JavaScriptの基礎

# 第3章

## 変数

## おわり